

# NEWS LETTER

株式会社人財アジア 定期ニュースレター

vol.18

岡村の最近の注目ニュース  ビジネス予備校近況レポート  B-EAT 会活動報告  What's up?

2021年11月

# 2021/11

いつ始めても  
遅すぎることはない。

## 受け身から能動へ！ そんな変化の兆しを 感じるのは若手に限らない。

かつて50代向けの研修では「私はもういいので部下のために学ぶ」という人が多かった。枯れてしまった上司の言葉に耳を傾ける部下がいるのか？と疑問に思ったものだ。だが、今は違う。

### 組織のためであり、自分のためでもあるのが仕事。

コロナ下、大学生応援の思いで「次世代キャリアとお金を考える講座」を始めて1年経つ。

出社機会の減った若手と共にオンライン協学講座も立ち上げた。最近の若手を見ていると、肩に力を入れすぎず、たやすく海外や異文化環境に挑戦しているように見える。その自然な主体性が頼もしい！

1980年代に自分が初めて米国JFK空港に降り立ったときは、気合と覚悟と好奇心で全身に緊張感が漲っていた。インターネット普及以前の時代だから、事前の情報はきわめて乏しく、マンハッタンに向かうタクシーの中で、映画のワンシーンに迷い込むような感覚すら覚えたものだ。初めて外から見た日本は美しく力強かった。Japan as No.1と言われ、自分が日本人であることに誇りを持たた。ところが、1990年代、2000年代と米国駐在を重ねるに連れ、Japan passing（日本を通り過ぎる）が顕著になっていった。

**世界は確実に小さくなっている。**

いまの若手からは、そんな縮んでしまった日本を外から冷静に眺め、世界と関わりを持って生きていく意思を感じる。自身の客観視は、個々人の変化を後押しするのだ。

**受け身から能動へ！そんな変化の兆しを感じるのは若手に限らない。**かつて50代向けの研修では「私はもういいので部下のために学ぶ」という人が多かった。枯れてしまった上司の言葉に耳を傾ける部下がいるのか？と疑問に思ったものだ。今は違う。「**自身の60代、70代をいかに充実させるか？**」みな真剣だ。仕事は楽しくなければどこかで何かがおかしい。生涯の幸せの面積を最大化する働き方をしよう！とのメッセージが素直に受け止められるようになった。組織依存の発想から遂に自立し始めたのではないか。

グローバルビジネスの現場では、一人一人の人間が発する強い思いや熱意が周りを揺り動かし、ビジネスを産み出していく。組織のためであり、自分のためでもあるのが仕事。**ワークとライフを重なり合わせる巧みさが仕事へのコミットメントを自然に高める。**

Never too late! 日本人も、広い世界に目を向けることで、自分の思いや関心に正直になる楽しさ、ワクワク感を手にしていこう。

脱組織依存！自立の道を歩み始めた日本人が次にぶつかる壁は、個人対個人の健全なるバトルに打ち勝つエネルギーだろう。怯む必要はまったくない。**エネルギーの強さは、金銭や私欲よりも、社会貢献などの大義が常に勝るのだ。**組織を背負い込むことをやめ、個性を回復した日本人が生来持つ大義には大いに期待できる。

本日で執筆くださった大平氏は、元金融庁勤務で、日本の資産運用業界発展に共に尽くす同志であり、また暴走気味な私を柔らかく受け止めてくださる人生の先達でもある。まさに歴史から紐解く温暖化への対応は、自立した新しい日本人にとって大きなヒントとなるはずだ。

注) この隔月ニュースの内容をさらに充実させ、発信していきたいです。メールアドレス等の変更は総務企画までお知らせくださいね！

(EAT 代表 岡村 進)

## 十九世紀の産業革命は 高い煙突から煙のイメージ

十九世紀の産業革命は石炭利用によるエネルギー革命とそれに伴う産業・社会構造の変革でした。イメージは大工業地帯に聳え立つ煙突から立ち上る濛々たる煙です。

蒸気機関車が都市を結び、アスファルトの道路が張り巡らされ、コンクリートのビルが建設され、工業化とオートメーションにより自動車や家電等機械製品の大量生産が可能となり人々は多くの恩恵を受けて、豊かな社会生活を営むことが出来るようになりました。

## Imagine してますか？

株式会社地域金融研究所  
取締役理事  
大平 博一 氏



### CO2による地球温暖化は科学的事実になった!!

その一方で工業廃水による水質汚染や排ガスによる空気汚染等の環境問題が発生しましたが、これらはこれまでは技術開発等により何とか乗り越えてきました。しかし、今度は地球温暖化という地球規模の環境問題が発生し、二酸化炭素やメタンガス等温室効果ガスがその原因とされ解決のためには世界中の国々が協力して対応する必要があることから「国連環境計画」においては温室効果ガスの排出量を削減して減少させなければ地球温暖化の進行を止められないとして各国に協力を求めています。

世界中が驚いたと思います。

十月五日、二〇二一年のノーベル物理学賞を二酸化炭素濃度が気候に与える影響を明らかにし、温暖化の原因を科学的に示した真鍋淑郎氏が受賞しました。

日本の経済界の主に二酸化炭素を大量に排出してきた重厚長大産業の重鎮等は前菅総理が二酸化炭素削減目標を掲げたときは「聞いていない突然だ」などと反発気味でした。二酸化炭素の影響は今までは「可能性がある」という程度の認識でしたが二酸化炭素濃度が地球温暖化の原因だということはノーベル賞の受賞により科学的事実となったわけですね。

今、世界各国が削減目標を掲げ始めました。このことは産業構造の変化だけでなく私達の生活様式も大きく変化することが予想されます。

### 二十一世紀の産業革命は 緑の地球のイメージ

Imagine は、ジョン・レノンが平和や人類愛を「イメージ（想像してごらん）」と呼びかけた歌でした。これからは自然エネルギーによる発電、製造業における原材料の再利用、農業における品種改良や新たな食材の創出・増産、生活のエコシテイ化等が進展するのではないのでしょうか？

想像してみてください。

地球規模では、アフリカの広大な砂漠において風力発電のプロペラが天高く立ち並ぶ、太陽エネルギー発電のためのソーラーパネルが延々と広がる、それらの発電施設等を運用する人達が移住して水を引き、町を作り、植林や農地を開発する。建物は木造となり、AIによる建設技術の進展により高いビルも木造となる、畑には水路が流れ広大な小麦等が青々と広がる。

杉は利用可能な成長までに三十年かかると言われます。時間はかかりますが地球温暖化は待つたなしです。

きつと二十一世紀の産業革命は緑の地球を創造するでしょう！

## B-EAT ビジネス予備校のOB/OGによる地域を超えた繋がりが

現在、九州最大手地銀エグゼクティブとの勉強会を企画中

**「地方の時代を考える勉強会」(仮題)**  
**日時：2022年1月上旬**  
**場所：オンライン (zoom)**  
**詳細：Slack 内等でご案内致します。**

EAT ビジネス予備校は東京七期、福岡五期を迎え、現役生・卒業生合わせて230名超となりました。今年は卒業生のリードでSlackによりほぼ全員が繋がることができる環境も整いました。来年1月、福岡クラスの卒業生にリード頂き、九州最大手地銀エグゼクティブとともに「地方の時代を考える勉強会」(仮題)を開催予定です。

## What's up?



奈木野 大裕  
DAISUKE NAGINO

EAT ビジネス予備校  
福岡クラス (4期生)  
介護付き有料老人ホームハーティーマインド  
専務取締役 薬剤師

EATの福岡クラスを卒業して数ヶ月が経ちました。私が授業中に書いたメモはノート2冊分以上ありますが、今では自分や会社のための最高の羅針盤になっています。福祉施設運営と調剤薬局支援、外国人財紹介事業を行っていますが、時々ノートを見返しながら「日々の仕事に猛烈にこだわってやっているか？」とセルフカウンセリングしています。皆さんはいかがでしょう？